

---

## 目次

---

○ 森林認証制度とは	1
● 国内で流通している主な森林認証制度	2
○ 上川管内における森林認証の取得状況	3
● 上川管内のCOC認証取得企業リスト	4
○ COC認証の取得による事業者のメリット	5
● COC認証の取得の流れ	6
○ COC認証の審査	7
● 管理のポイント	8
○ グループ認証	8
● 上川のグループ認証「上川森林認証協議会」	9
○ COCプロジェクト認証	11
● COCプロジェクト認証の取組事例	11
○ 森林認証材を使った製品事例	13
● 認証機関	14

## 森林認証制度とは

### ◆ 誕生の背景

1980年代に熱帯林の減少が世界的な問題になりヨーロッパでは環境保護団体が中心となり熱帯材の不買運動が行われました。こうした背景を受け、世界各地で森林経営の持続可能性や生物多様性の保全などを客観的に把握・評価するものさしとしての「基準・評価」の作成が進められ、モンリオールプロセス、ITTO 基準・指標など、世界各地で9つの国際的な基準・指標づくりやモニタリングの取組が行われています。

森林認証制度は、こうした取組を森林経営の単位に対応評価できるように発展したものと誕生しました。



▲ 違法伐採により破壊された森林

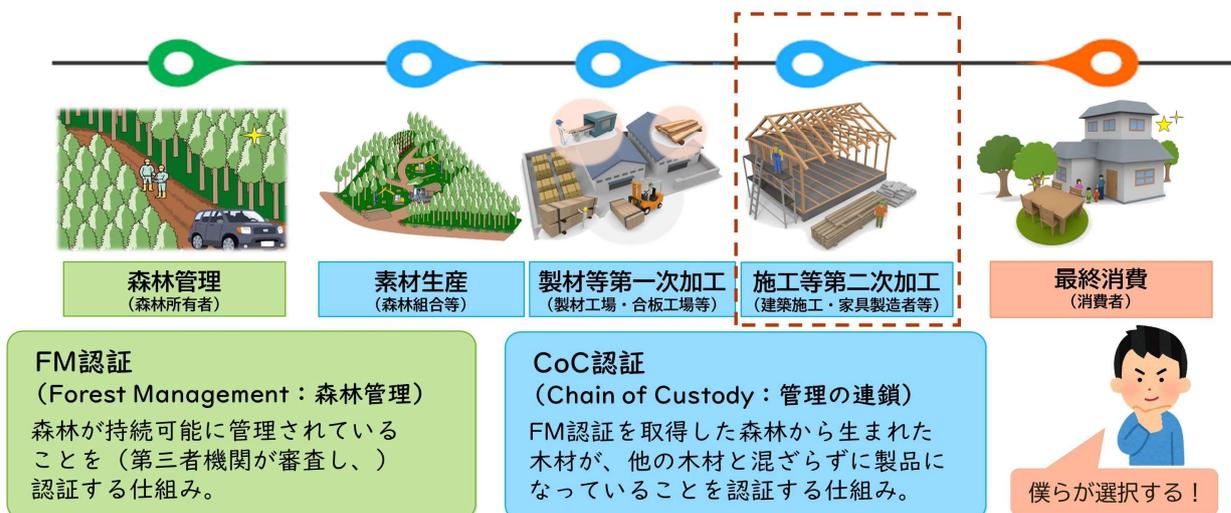
### ◆ 森林認証制度とは

森林認証制度は、行政や企業から独立した第三者機関(認証機関)が、持続可能な森林経営など一定の基準を満たす森林を認証し、そこから生産される木材・木製品にロゴマークをつけて区分し、消費者の選択的な購入を通じて適切な森林管理を支援する制度です。

### ◆ 森林認証制度の仕組み

森林認証は、森林の管理を認証する **FM 認証**と、加工・流過程の管理を認証する **COC 認証** から成り立っており、認証された原材料にそれ以外の木材が混入することを防いでいます。森林認証製品が一般消費者の手に届くまでには、最終製品にいたるまでの生産や加工、流通に関わるすべての組織が認証を受けていなければならない、森林認証材の適切な管理のチェーンが繋がると、最終製品に『森林認証ロゴマーク』をつけて販売することが可能となります。

### ◆ 森林認証の一般的な流れ



## 国内で流通している主な森林認証制度

国内で流通している森林認証制度は、主に次の3つがあります。

中でも PEFC は、カナダの CSA(Canadian Standards Association)、北米の SFI(The Sustainable Forestry Initiative)など各国の認証制度を相互承認する仕組みとなっており、2016 年には日本独自の認証制度である SGEC との相互承認が決定し、SGEC は国際的な森林認証制度になりました。

認証の名称	特徴	ロゴマーク
<b>SGEC</b> Sustainable Green Ecosystem Council 一般社団法人 緑の循環認証会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆2001 年に、(一社)日本林業協会が、林業・木材産業界、学識者、環境 NGO の協力も得て、人工林の多い日本の森林の特色を踏まえた日本独自の認証制度の創設を提言。2003 年に正式に発足(事務局:日本)。</li> <li>◆2014 年に PEFC に加盟し、SGEC 規格文書の見直しなどを経て、2016 年 6 月に相互承認。                これにより、<u>SGEC 認証材に PEFC のマークをつけ、国際的に認められた認証材として流通させることが可能となった。</u></li> </ul>	
<b>PEFC</b> Programme for the Endorsement of Forest Certification schemes PEFC 森林認証プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各国の NGO が国毎に創設した森林認証制度を相互承認する仕組みとして、1999 年に欧州 11 カ国の認証組織によりパリで発足(本部:スイス)。</li> <li>◆相互承認された認証材には、統一したマークを付け流通させることが可能となる。</li> <li>◆小規模林業に対応可能な国際的認証制度として欧州を中心に取得が進み、世界では FSC を凌ぐ認証林面積を有する制度。</li> </ul>	
<b>FSC</b> Forest Stewardship Council 森林管理協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆1990 年に、木材の消費者、流通業者、環境団体、人権団体が世界の森林減少問題を懸念し、林産物が適切に経営された森林から責任を持って生産されたことを証明する制度の必要性を議論。                1993 年に WWF(世界自然保護基金)を中心に発足(本部:ドイツ)。</li> <li>◆世界規模で展開する国際的な制度。</li> <li>◆主に熱帯等を含めた天然林の多い地域がターゲット。</li> </ul>	

### ◆ 主要国における認証森林面積と割合

令和4年(2022年)12月時点での国内における FM 認証面積は、FSC が 42 万 ha、SGEC が 221 万 ha となっています。認証森林の割合は欧州の国々に比べ低位にありますが、**SGEC を中心に認証面積は増加傾向**にあります。

また、COC 認証の取得件数は、FSC が 2042 件、SGEC(PEFC を含む)は 494 件となっています。

	認証面積 (万ha)	森林面積 (万ha)	認証森林 の割合
スウェーデン	2,373	2,798	85%
フィンランド	1,900	2,241	85%
カナダ	15,148	34,693	44%
アメリカ	3,952	30,980	13%
<u>日本</u>	<u>259</u>	<u>2,494</u>	<u>10%</u>

## 上川管内における森林認証の取得状況（令和5年3月末時点）

上川管内では、一般民有林及び道有林でFM認証の取得が進められ、上川管内の森林面積約80万8千haのうち約28%にあたる約22万3千haが認証森林となっています。

そのうち民有林（一般民有林、道有林）では、森林面積の約65%が認証森林です。

また、上川管内の木材関連等事業者64社がCOC認証を取得しています。

上川管内における認証材の供給能力は、約20万m<sup>3</sup>/年と想定され認証材供給体制が整っています。

### ○上川管内のFM認証取得状況

市町村数			国有林	道有林	一般民有林			合計	
					市町村有林	企業有林	私有林		
23	森林面積	A	468,401	118,430	33,689	187,976		808,496	
	森林認証取得面積	SGEC	a1	0	118,430	33,151	14,130	56,446	222,157
		FSC	a2	503	0	4,454	154	602	5,713
		合計	a1+a2	503	118,430	33,151	14,130	56,446	222,660
	認証率	(a1+a2)/A	0.1%	100.0%	98.4%	37.5%		27.5%	
	針葉樹蓄積量	(千m <sup>3</sup> )	30,180	8,851	4,181	21,682		64,894	
	広葉樹蓄積量	(千m <sup>3</sup> )	30,322	7,597	2,569	12,988		53,476	

※令和5年3月末時点の道内森林認証取得状況（北海道水産林務部林務局森林計画課調べ）から。

※認証取得面積の合計(a1+a2)は、SGECとFSCが重複している分を除いている。森林面積の増減が生じることから、認証率100%以上となっている場合がある。

※蓄積量については、R3年度北海道林業統計から引用。

### ○上川管内のCOC認証取得事業者数

	SGEC	FSC	PEFC	合計
素材生産者	40			40
製材・合板工場	14	5	2	21
集成材工場	1	1		2
家具製造業者				0
木材加工業者	4	2		6
流通業者		2		2
合計	59	10	2	71
合計（認証重複除く）	59	5	0	64

※本社（管外）で認証を取得している場合、上川管内の認証取得者数から除く。

※最下段の合計については、SGEC認証取得者数を元に、FSC、PEFCを重複して取得している事業者については、重複分を除いて計上。FSCとPEFCを重複している事業者については、FSCに計上。

## 上川管内の COC 認証取得企業リスト (令和 5 年 9 月末時点)

※北海道水産林務部林務局森林計画課調べ

市町村	企業名	認証制度	業種	備考
旭川	昭和木材株式会社	SGEC	製材・集成材製造業 及び同販売業	
	株式会社片桐紙器	FSC	段ボール製造	
	株式会社総北海	FSC	印刷製本等	
	王子木材緑化株式会社	FSC	流通業	
	株式会社ドルック	FSC	印刷製本等	
	合同容器株式会社	FSC	段ボール、紙加工・流通業	
	ジャパン建材株式会社	FSC	流通業	
	日本製紙株式会社	FSC	紙生産業	
	日本製紙木材株式会社	FSC	チップ製造業及び同販売業	
	レンゴー株式会社 パッケージ部門 管理本部	FSC	紙生産業	
士別	三津橋産業株式会社グループ	SGEC		
	三津橋産業株式会社		素材生産業・木材加工業 及び同販売業	
	道北ハウジングシステム協同組合		木材加工業及び同販売業	
	大成産業株式会社		木材加工業及び同販売業	所在地は 苫小牧市
	南富良野木材産業株式会社		素材生産業及び同販売業	所在地は 南富良野町
	音威子府林産企業協同組合		素材生産業及び同販売業	所在地は 音威子府村
	三津橋産業株式会社	FSC	製材・チップ製造業 及び流通業	
当麻	上川森林認証協議会	SGEC		
	構成員については P10 参照		素材生産業・製材生産業 ほか	旭川市ほか
下川	三津橋農産株式会社	SGEC	製材・チップ生産業	
	下川フォレストファミリー株式会社	FSC・ SGEC	集成材製造業	
	株式会社フブの森	FSC	木材加工業	
	山本組木材株式会社	FSC	製材・チップ製造業	